



2013年3月号

家庭倫理の会は「よくする活動」を推進しています
家庭を、地域を、日本を、地球をよくする活動を推進しています



家庭倫理講演会 テーマ 「おかあさん」

- 場所 なかの芸能小劇場
- 講師 生涯局 普及開発部 北海道・東北管区 管区長 田口 雄
- 主催 社団法人倫理研究所 後援：文部科学省：中野区教育委員会

開催の趣旨

歴史を参考に、変遷し続ける家庭や家族の良好なあり方を凝視してみると、時流に関わらず家庭内で変えてはならないことと、変えなければならないことがあります。
今年、懐かしき「おかあさん」をテーマに、自分自身の原点を省みることによって、夫婦、親子の絆が深まり高まって家庭が愛の泉となりますことを願い、家族一人ひとりが、父として母として、息子として、娘として、それぞれが輝き、よりよくなるために必要な心の持ち方とその実践をご紹介します。
幸せなご家庭が増えよりよい社会づくりの一助となれますように、との熱い思いを胸に「家庭倫理講演会」を開催致します。

家庭倫理講演会、第1回の企画会が2月17日（土）から開催いたしました。

総責任者内倉あゆ子会長、実行委員長桐山敬子推進長より趣旨の説明と当日の実践報告者、進行とその他受付、舞台、場内外の案内係他の役割分担の大事さや、多くの方々をお迎えをするために、気を引き締めて又、皆さんと共に開催することを企画会（構成メンバーは会役職者・支部長）で決定いたしました。各部署のチーフと実践報告者はほぼ内定、及び進行者の方も選考中です。

特別おはよう倫理塾 4月17日（日）中野サンプラザにて開催

テーマ **明るく生きる**

◇日時：4月17日（日） 早朝5：30～6：30

◇場所：中野サンプラザ 研修室7F

◇講師：社団法人倫理研究所 理事・専任講師 町筋 幸江

日本家庭教育学会会員・親学推進協会講師

◇定員：100名

参加無料



人は皆、幸せな家庭作りのために、懸命に努力しております。しかし どうしても家庭や社会では色々な問題が降りかかってきます。それらの問題を乗り越えることのできる自分づくり場として「おはよう倫理塾」があります。今回の「特別おはよう倫理塾」に参加されて早朝の学びを体験して頂ければと思います。

是非、皆様のご来場をお待ち致しています。

1年前のお正月は病院のベッドの上、今年は孫達に囲まれて楽しいひと時を迎える事が出来ました。この上ない幸せ感を味わえたのもリュウマチのお蔭と感じております。痛みとの戦いの中でなぜこんな病気になってと・病気を嫌がり受け入れることが出来ず、嫌がれば嫌がる程に痛みが増し身動き出来ない毎日でした。そんなある時「新世」を読んで衝撃を受けたのです。そして救われました、苦しくて苦しくて手足が動かなくても大丈夫、体力が弱くても精神力が強ければ大丈夫、目先の打算に流された生活ではむなしさが残る、ただそれだけではない残された家族が衰運の人生をたどることにさえなる、それでもあなたは良いのですか問われ、人生観が変わったという気がつかせて頂いたのであります。翌朝から実践を致しました。亡き父母に感謝とお詫びの言葉を述べた後誓いの言葉と死生観の詩を毎朝朗読しています。私の一番好きな詩は、感謝の無我報恩の真我に可能なし必要な事は必要な時に絶妙のタイミングで全て与えられる。今は週2回のディーサービスと週3回のヘルパーさんに助けられている生活ですが、足が丈夫になる様にと始めた宮参りも100日が過ぎました。最近思うことは丸山先生のたましいの教育にふれて、私は何を自覚して何を伝えていったら良いのか思案中です。最後にこの度充実した死生観を学び得たことは私にとって何者にもかえがたい最高の喜びであり、山口理事に感謝の気持ちで一杯でございます。ありがとうございました。

倫理の集い「さわやかセミナー」

中野中央支部 原 千美

2月13日(水) 東部区民活動センターで、家庭倫理の会練馬区井口節子生活倫理相談士の講話で開催されました。未会員2名、子供2名、会員8名計12名の出席、和やかに行うことができました。それぞれの自己紹介、講師の入会動機や体験を聞かさせていただき、その中から倫理の素晴らしさと早起きのいかに素晴らしさかということがわかりました。今回班長でありながら全部舟久保さんにして頂き、お迎えは内倉会長さんにして下さってありがたかったです。皆さんのお蔭で無事終わることが出来ました。ありがとうございました。

しきなみ子供短歌コンクール表彰式

第8回しきなみ子供短歌コンクール表彰式が2月17日(日) ニッショーホールで開催されました。文部科学省・全国民間ラジオ局37社(初)の後援の基で会場は約700名の参加でした。しきなみ子供短歌賞・文部科学大臣賞が特選の低学年・中学年・高学年の部から各1名計3名と、そして特選30名の小学生の子供たちは、(社)倫理研究所丸山敏秋理事長より表彰状と記念品を授与されました。しきなみ短歌賞・大臣賞の3首を「星と森披講学習会」の皆さんから古式豊かに披講を行われました。(村田)

しきなみ子供短歌賞 文部科学大臣賞

低学年の部 福島県 小学1年 高橋 彩音

ふくしまにほうしゃのうがなかったらそとでいっぱいかけっこしたいな

中学の部 埼玉県 小学4年 白鳥 翔太

おじぎそうそとふれるとおじぎするれいぎただしいふしぎなはっぱ

高学年の部 東京都 小学6年 南雲 健太郎

寿と金色の文字桐小箱ぼくの命と母をつなぐ緒

文化部書道・短歌を楽しくやりませんか！

日頃皆さんと「秋津書道」「しきなみ短歌」とそれぞれ月2回、1回講師をお招きいたして習字、短歌を通して学んでいます、会員のみなさんもと一緒に楽しくご参加していただき、生涯学習に如何ですか。(熊谷文化チーフ)

ホームページも是非ご覧下さい <http://nakano-rinri.jp>

家庭倫理の会中野区 発行責任者:内倉あゆ子 / 編集責任者:村田 守